



タンク損傷リスクを最小限に抑えます

アルファ・ラバル SB圧カリリーフ弁

コンセプト

圧カリリーフバルブは、液体過充填で起因するタンクへの損傷のリスクを最小化するために使用されます。

動作のしくみ

圧カリリーフバルブは、平衡錘を付けてご提供し、それに顧客の、開放圧力に関する要件に適合するようにロックされています。タンク内の圧力がプリセット開放圧力値を超えた場合、バルブは過剰な圧力を解放します。

標準仕様

圧カリリーフ弁は2つのバージョンがあります。

- ・ SCANDI BREW® タンクトップシステムに一体化しました。
- ・ 独自の溶接フランジに取り付けられます

EN 4126-1 に準拠

EN 764-7 に準拠

欧州共同体PED 97/23/ECに遵守します。

流体II 非危険性流体

一体化した圧カリリーフ弁の利点は、初期コストが安く、優れた衛生およびバルブに必要な面積が小さいことです。サイズと圧カリリーフ弁の設定は、タンク設計データとプロセス要件に基づきます。



テクニカルデータ

公称サイズ

公称サイズ	設定圧力範囲
75mm	0.2 ~ 3.5 bar
100mm	0.2 ~ 2.5 bar
150mm	0.4 ~ 1.5 bar

物理データ

材質

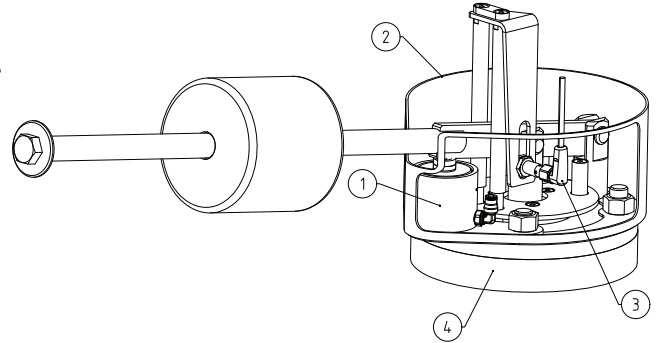
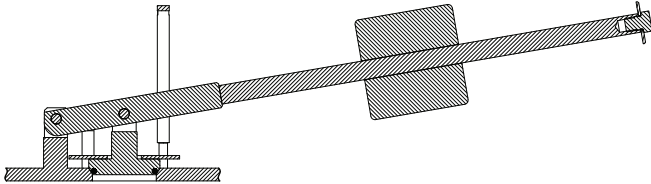
接液金属部分:	EN 1.4404 (AISI 316L) 3.1認証付き
接液部製品鋼表面:	表面粗さ Ra<0.8 μm
接液部シール材:	EPDM

定置洗浄(CIP)

圧力リリーフ弁が閉鎖位置でタンク洗浄ヘッドを使用して洗浄されます(バルブシートが含まれない)。洗浄サイクルに弁座を含めるには、バルブに空気強制開放器およびスプラッシュ・ガードを備えるオプションがあります。

一体化したバルブ

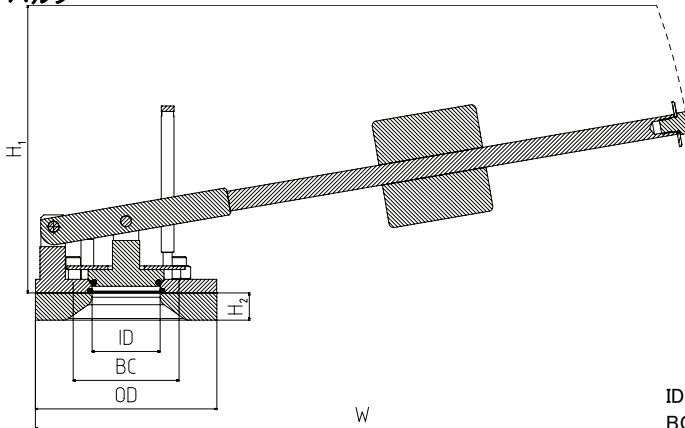
オプション



オプション:

- 位置 1: 強制開放器: 洗浄サイクルの間に強制開放
- 位置 2: スプラッシュ ガード: バルブシートのクリーニング時にCIP液を格納します。
- 位置 3: 近接センサー: 操作検出用
- 位置 4: 溶接フランジ: 取付用

バルブ

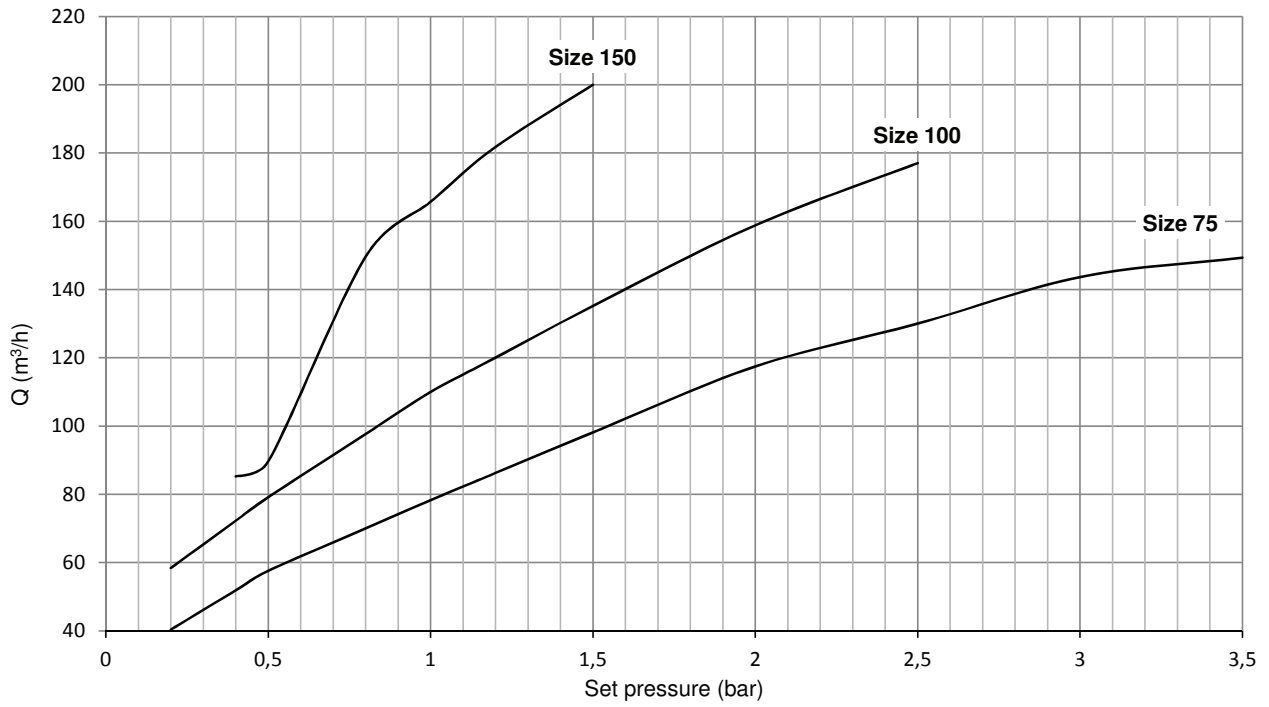


ID = 有効直径
BC = ボルト円
OD = 外径

を備えたフランジ

インターフェイスの要件(mm)

公称サイズ	ID	BC	OD	ボルト	H1	H2	W
75	75	165	200	4xM16	375	30	740
100	100	165	200	4xM16	375	30	740
150	150	230	270	8xM16	430	30	1050



排出容量

が EN 4126-1

容量に従い、測定:

$\Delta P=10\%$ 設定圧力 ≥ 1 バール

$\Delta P=0,1$ 設定圧力 < 1 バール

メディアム: 水 (20° C)

ここに記載されている情報は、発行時点で正しいですが、予告なく変更されることがあります。ALFA LAVAL は、Alfa Laval Corporate AB が所有する登録商標です。

ESE02913ja 1507

© Alfa Laval

アルファ・ラバル社の問い合わせ先

すべての国の詳細な連絡先は
当社のウェブサイトです。絶えず更新されています。
www.alfalaval.comにアクセスして
直接情報を入手してください。